

は最高 43.4  $\mu$  Sv を計測している。

ホットスポットが各地に散在していると思われる、これから役場周辺や田畑などの地域のそれぞれ約5ヘクタールが対象。10 m間隔で各400地点の線量を計測する。そのデータを基に除染計画を立てる、としています。

但し本格的な除染作業が開始されても、汚染土の仮置き場、処理場は決まっていないうし、これからの難題が山積しており、中間貯蔵施設の決定が重要です。

### ■3党合意案の骨子

#### 放射性物質により汚染された土壌などの除染

- ・環境相は、国が除染などをする必要がある地域を指定し、除染計画をつくり、実施する
- ・汚染状態が上記より低い地域も「重点調査地域」に指定

#### 汚染された廃棄物の処理

- ・環境相は、廃棄物が特別な管理が必要なほど汚染されている恐れがある地域を指定し、処理計画をつくる
- ・汚染状態が一定の基準超の地域も指定
- ・上記の地域内の廃棄物処理は、国が実施

#### 費用の負担

- ・東電などが負担。国は必要な財政措置を講じる

11月21日、東日本大震災からの復興策を柱とする12兆1千億円の今年度第三次補正予算が成立した。

この中に除染作業や放射線被曝医療の施設整備などを掌括する原発事故対応の福島県基金を創り対応する、としているが今年度予算総額は、三次補正までで106兆円と過去最大の予算額になった。更に必要であれば第四次補正予算も視野にあるとしている。

### 基本方針のポイント

- 子供の生活環境を優先的に除染する
- 自然界からの被ばくを除いた線量が年間20ミリシーベルト未満の地域で、2013年8月末までに一般人の被ばく線量を半減、子供は60%減を目指す
- 年間20ミリシーベルト以上の地域は段階的に縮小
- 当面は市町村やコミュニティごとに仮置き場を確保。福島県内に設ける中間貯蔵施設の確保は国が責任を持つ
- 汚染廃棄物や除染で出る土壌は、分別、焼却などの処理でできる限り容量を減らす

### 「まてないみせ」内部被曝さけるために

- ・土ホコリは**マスク**で
- ・手につかないように**手袋**で
- ・側溝など汚泥につくときは洗える**長靴**で
- ・作業中は**飲食禁止**
- ・かわりに途中で手を洗って**水分補給**
- ・**線量計**が必須 高い汚染物は**専門家呼ぶ**